

記者発表資料

「R4宇都宮国道管内通信設備他工事」において、「余裕期間制度（フレックス）」、「施工箇所が点在する工事の積算」、「難工事指定」、「配置予定技術者の専任を要しない期間」、「機器単体費の提示」、「世界的な半導体不足による工期延期等について」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R4宇都宮国道管内通信設備他工事」については、以下のとおり不調・不落対策を試行及び採用します。

【対象工事】※工事の内容については、別添の工事概要を参照して下さい。

- ・「R4宇都宮国道管内通信設備他工事」

【不調・不落対策の採用】

- ①「余裕期間制度（フレックス）」
- ②「施工箇所が点在する工事の積算」
- ③「難工事指定」
- ④「配置予定技術者の専任を要しない期間」
- ⑤「機器単体費の提示」
- ⑥「世界的な半導体不足による工期延期等について」

※詳細は次頁をご覧ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ

お問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 電話 028-638-2181（代表）

副所長（技） さとう たかし 佐藤 尚 （内線205）

建設専門官 こや しげる 小屋 林 （内線402）

《工事概要》

- (1) 工事名：R4宇都宮国道管内通信設備他工事
- (2) 工事場所：栃木県宇都宮市平松町504宇都宮国道事務所外22箇所
- (3) 工期：契約締結の翌日から令和5年3月31日まで（予定）
- (4) 入札方式：一般競争入札総合評価方式（施工能力Ⅱ型）
- (5) 工事種別：通信設備工事
- (6) 工事内容（概要）

光ケーブル新設	約6,200m
光ケーブル撤去	約10,000m
被遠方監視制御装置更新	3台
無停電電源装置新設・更新	17台
配線・配管工	1式
作業土工	1式

① 《余裕期間制度（フレックス方式）の活用》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和5年3月31日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者の配置が不要となります。また、余裕期間内は工事契約款第11条に定める現場代理人の常駐を要しません。

② 《施工箇所が点在する工事の積算》

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

③ 《難工事指定》

本工事は、交通量の極めて多い現道上における工事で、社会条件の厳しい工事であることから「難工事指定」を採用します。「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

④ 《配置予定技術者の専任を要しない期間》

本工事は、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、競争参加資格確認申請書の配置予定主任（監理）技術者の専任を要しないものです。

⑤ 《機器単体費の提示》

被遠方監視制御装置及び無停電電源装置に係わる機器単体費を歩掛見積参考資料に提示することを試行します。

⑥ 《世界的な半導体不足による工期延期等について》

本工事は、半導体不足の影響で機器等の納期遅延により、工期内に工事が完成出来ない等、工期の延長が必要な場合には、工事の一時中止等の適切な措置を行い工期延期を実施します。

《その他》

本工事は、「供用中の道路において、交通規制（車線減少、切り回し、通行止め、片側交互通行、のいずれか）を行った工事」の経験を求めないこととします。また、求める企業への施工実績は、関東地方整備局管内と限定せず、地域要件を緩和しております。

《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	: 令和4年 5月25日（水）
○競争参加資格確認申請書提出期限	: 令和4年 6月 2日（木）
○入札書・工事費内訳書提出期限	: 令和4年 6月24日（金）
○開札日	: 令和4年 6月29日（水）